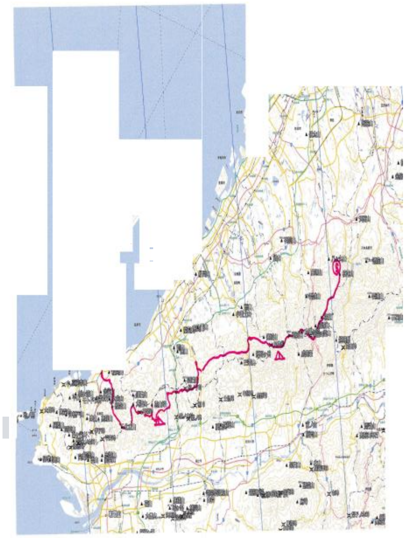
山行報告

８月１６日　　　　ウルトラダイトレ　　　　平尾　繁和

山　名	ウルトラダイトレ	山行名	８月例会
山行日	2019 年８月 16 日（金）～18（日）	天　候	晴れ時々曇り
参加者	CL：平尾　SL：下坂、土岐		

ルート概略図



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
和泉中央駅	着	8：56	槌ノ子峠	着	15：25
	発	9：07		発	15：30
槙尾山施福寺	着	11：05	国境境	着	16：00
	発	11：10		発	16：00
三国山	着	13：32	青少年の森	着	19：00
	発	13：37		発	5：15
和泉葛城山	着	16：02	雲山峰	着	5：37
	発	16：06		発	5：46
ハイランドパーク粉河	着	16：30	大福山	着	7：01
	発	6：15		発	7：15
犬鳴山	着	7：30	札立山	着	8：58
	発	7：50		発	9：10
城ヶ峰	着	10：00	飯盛山	着	10：08
	発	10：10		発	10：27
ササ峠	着	11：35	提灯講山	着	11：10
	発	11：50		発	11：15
紀泉わいわい村	着	12：20	みさき公園駅	着	13：30
	発	13：05		発	13：41

昨年のダイトレ例会終点槙尾山施福寺からみさき公園駅までコースタイム19時間40分(休憩含まず)を縦走。アプローチが不便で和泉葛城山、犬鳴山温泉を過ぎると山中渓駅までエスケープルートもなく２泊３日のテント泊で計画。ハイランド粉河のテント場ともう一泊を紀泉アルプス地蔵山の青少年の森で探すこととした。青少年の森には水場はなくわいわい村を除き自販機も１台もないコースなので、わいわい村で水を補給し重い荷物を運んだ。各地点の標高差を単純計算すると上り下りとも 2,000ｍ強だが、実際は各地点間にアップダウンが多く傾斜も結構きつかった。３ヶ所ほど予定ルートと違うところをルートファインディングしながら歩いた。とりわけ、２日目槌ノ子峠から日吉神社までの山道が、以前の台風による倒木で崩壊したままになっていたため道が途中で不明瞭になった。登山道は右岸のはずなのに、左岸の中腹をへつるような狭い傾いた道に続いている（赤布あり）ヤマップを頼りにルートファインディング、道が下りだしてやっと安心できた。青少年の森までコースタイム 60 分の地点ですでに 18 時 30 分、日は落ちかけ暗くなってきたので地蔵林道への分岐から三叉路へ行かず、谷をつめる道に変更し青年の森のテント場らしきところにつく。あまり条件がよくなさそうで、展望広場まで疲れた身体を鞭打ち坂道を上る。19 時テントを張って一安心。３日目みさき公園駅手前から海岸まで歩き大阪湾の水にタッチ、猛暑のなか長い低山縦走の山行を無事終了した。３日間施福寺近くを除き登山者はもちろんほとんど通行人とも出会わず自然のなかを黙々と歩いた。花こそウバユリやヤブランのほかは少なかったが、道中センチコガネやタマムシ、ウスタビガの繭を見つけたり、突然前方へヤマドリらしき鳥やイノシシが急に飛び出したりすることも数回、ウリ坊にも出会えた。谷間では犬鳴山の行者ノ滝はじめ台風後で水量あふれ迫力ある姿や渓流沿いで爽やかさを感じて歩けたのはよかった。台風が日本海に抜けた直後で交通機関に影響もあったがなんとか予定のバスに乗ったもののオレンジバスへの乗換を失念し 40 分歩いて施福寺についたことも影響し、ハイランド到着がずれ込みそうになったが管理人さんが自動車で迎えに来てくれテント場へはほぼ予定どおりつけた。反省と感謝のひとことにつきます。

※参考　ヤマップ記録（３日間合計）　距離 66.8ｋｍ、累積標高上り 3,330m、下り 3,433m

ヒヤリハット　　なし

下坂　元人

行ってきました、ウルトラダイトレ。昨年ダイトレ（ダイヤモンドトレール）を5回に分けて例会として企画させていただきました。5回すべてに参加いただいた平尾さんに、「ダイトレ終点の槇尾山から、西へ西へ行って、海にたどり着くまでを「ウルトラダイトレ」とか、「スーパーダイトレ」とか名付けている人もいるみたいですけど、やってみません？」とお誘いし、今回の企画となりました。ということで、名称も「ウルトラ」なのか、「スーパー」なのかも、決められる人もいませんし、ダイトレのように道標や銘板がないので、「この道が正規ルート」なんてのもありません。山と高原地図を見ながら、どこにテントを張るか、どこで水を補給するか、また、そもそもどのルートを通るか、計画を立てました。
そして、テントも購入し、テント設営のトレーニングもした上で本番に臨みました。台風の心配がありましたが、前日中に通り過ぎてくれて、予定通り決行。そして、いろいろ様々なことがあったのですが､､､とにかく岬公園の海まで全員無事に到着しました。
今回、自分たちでルートを決めて、テント泊しながら、体力の限界に挑むような山行をしてみたことで、自分自身の山の技術や能力が上がった気がしました。ご一緒いただいた平尾さん、土岐さん、ありがとうございました。

土岐　吉正

台風の後遺症の雨と強風を心配しながら京田辺を出発。電車とバスを乗り継ぎ槇尾山へ、雨と風の心配はなくなりましたが、暑さと3日分の荷物の重量が課題になりました。初日は、体・精神も元気でしたが、2日、3日となると飲み水の心配と荷物の重さが負担になってきました。さらに登山道に思ったより人が歩いてないのか蜘蛛の巣がありそれを取り除きながらの歩行となり、さらに体力を消耗させる事態と時間のロスになりました。標高はたいして高くないのですが、降りては登り、中には急坂があり精神的に心が折れそうになりそうにも・・・暑さもですが・・・登山者も1人に会っただけでした。テントで宿泊しながら・・・ときどき山から見る景色、星空は曇りで見れませんでしたが、花や昆虫などを立ち止まり観察しながらの歩行だけ、これが究極のダイトレと肌で感じながらの走行距離６６．８キロ・３日間でした。みさき公園につき最終海岸に着いた時の疲労感の中の達成感は感無量でした。平尾さん、下坂さんには下準備・いろいろなアドバイス・食事の準備・テントの間借り・記録など本当にありがとうございました。そしてご苦労様でした。

ウルトラダイトレ（2年で110ｋｍ）を歩き通して

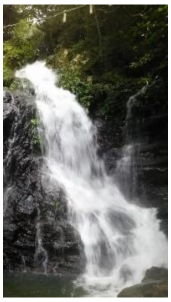
平尾　繁和

昨年の屯鶴峰から槇尾山までダイトレ約 45ｋｍと、今回槇尾山から紀泉アルプスを岬町の大阪湾まで66.8ｋｍ合わせて111.8ｋｍのウルトラダイトレを2年かけて繋ぐことができました。昨年ダイトレ例会の終了時、その先紀泉山脈から大阪湾まで縦走するウルトラダイトレをやりませんかというお誘いが下坂さんからあり、二つ返事で引き受けた。2泊3日テント泊となると装備の15ｋｇ超は必定でボッカ訓練が不可欠となった。10月から毎月0.5ｋｇずつ増やしトレーニングを開始。テント泊入門講習に参加しテントの張り方を学び、テントを購入した。下坂さんから装備の軽量化を極力図るためウルトラライトハイキングを参考にしようと提案があり、シュラフカバーを代用し食料もアルファ米やリゾットなどで済まし最小限に削り山行で何が必要か改めて考えることができた。テント生活は、十数年前の初冬の八雲ヶ原以来で自分でテントを担ぐ山行は初めてだったが、テント越しに虫の音を聞きながら夜半に月が通過するのをみ、2日目の地蔵山の展望広場からは紀の川をはさみ和歌山市街の灯りと、夜空には木星や土星、アンタレスなど久々に星座も楽しめ下界の熱帯夜から解放された快適な夜が過ごせました。食料担当の私が軽量化にとらわれボンベを小型にしたため、2日目の朝燃料

が切れ、夕食のカレーリゾットは水４分間でできたものの迷惑をかけてしまったことは最大の反省点で今後の教訓とします。暑さと長い行程と荷の重さに気がくじけけそうになりながらも３人気合を入れて最後までやり遂げることができたのは、「3 人寄れば何とやら」でチームワークのおかげです。炎暑の低山を重い荷物をもって3日間も歩き続けるという人のやりたがらない途轍もない山行でしたが、各自の今後目標とする山行をやるための体力など培ってくれたと確信します。読図はじめ技術的に今後深めなければならない点もわかり貴重な体験となった思い出に残る山行になりました。企画を提案し段取りをしてくれた下坂さん、参加し先頭を歩いてくれた土岐さん本当にありがとう、２人に感謝します。

ダイトレ終点（槇尾山）　十五丁地蔵へ　千本杉峠　三国山へ向かう

和泉葛城山手前三角点（865.6m）　ハイランド粉河　犬鳴隧道を通り近畿自然歩道を犬鳴山へ



犬鳴山　行者ノ滝　両界ノ滝　城ヶ峰　ササ峠に向かう北方の山並み

ササ峠　滝畑　落合へ向かう

紀泉アルプス最高峰　雲山峰（414m）

井関峠へ

懺法ヶ嶽（387m）

大福山（427m）

奥辺峠

322 ピーク

紀の川、和歌山方面を望む

札立山

飯盛山（385m）

右手奥には関空が

提灯講山（198m）

みさき公園西　大阪湾

センチコガネ

ウスタビガの繭

タマムシ

ヒイロタケ？

和泉山脈、大福山の花